

若年性認知症を 地域で共に 受けとめていく 私たち

若年性認知症が知られるようになったのは、1990年代後半から2000年代初頭と言われているが、身近な社会課題として考えられるようになったのはつい最近である。

本県においても、「認知症」は、高齢者だけに起こるものではない」という意味での啓蒙活動が、当事者及び家族、行政機関、各種関係者を中心に行われ、県民に知られるようになった。

一方で、「当事者・家族の生きづらさ」の理解や「地域や周囲の関わり」、「社会的な支援体制」の整備は、まだ発展途上である。

そこで、今年度の研修では、当事者・家族の思いや願いをしっかりと受け止めながら、私たちがどのように関わり、取り組むべきかを共に考える場とする。

日時

令和6年 **12月20日** (金)
10:00 ~ 16:00 (※受付9:30-)

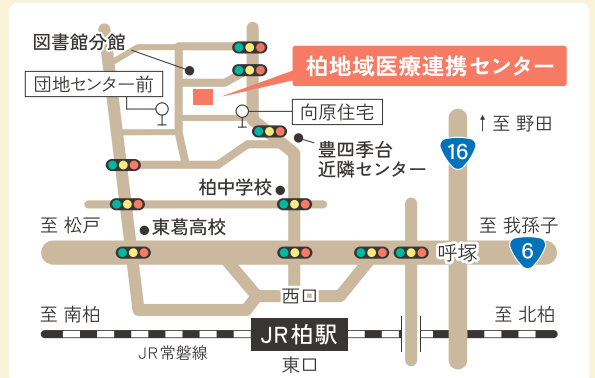
会場

柏地域医療連携センター 1階 研修室
〒277-0845 千葉県柏市豊四季台1丁目1-118
(柏駅より徒歩16分)
※会場に参加者用の駐車場はございません。

参加費無料
定員70名

オンライン参加もできます

オンラインご希望の方は、その旨も申込み時に連絡ください。
なお、状況によってオンラインでの実施ができない場合もございますので、その点はご了承ください。その場合は、事前にご連絡いたします。



申込方法

右記の2次元コードまたは下記URLよりお申し込みください。
なお、FAXでの申し込みも可能です。(裏面の様式で申込可能です)
<https://forms.gle/pq79BSNgiGEy6rg88>



申込締切 ▼
2024年
12月13日(金)

留意事項 ▶ 参加にあたり、配慮が必要なことがありましたら事前にご相談ください。

お問い合わせ先



一般社団法人
ちば地域密着ケア協議会

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 (千葉県経営者会館1階)
TEL : 043-244-2601 / FAX : 043-244-2602
E-mail : c3-chiba@salsa.ocn.ne.jp

プログラム・講師紹介

対面形式

対面
30名

第1部

10:00

↓

12:00

若年性認知症実践者のつどい（グループワーク）

参加者個々人が、若年性認知症の方との関わり事例を持ち寄り、支援等に関する意見交換と共に、支援の視点に関して学び合う。

ファシリテーター

宮崎 淳子（生活クラブ）
伊藤 英樹（井戸端介護）
安西 順子（ひぐらしのいえ）
田邊 恒一（ウェルフェア）

ハイブリット形式（対面＆オンライン）

対面
70名

オンライン
30接続
（予定）

第2部

13:20

↓

14:20

若年性認知症当事者。家族の思い（対談）

若年性認知症当事者や家族の思いや声を聞きながら、置かれている状況や環境を理解する。

語り手

布川 佐登美（当事者）／柏市
東宮 聡子（家族）／船橋市

聞き手

藤田 睦美
（千葉県若年性認知症支援コーディネーター）

ハイブリット形式（対面＆オンライン）

対面
70名

オンライン
30接続
（予定）

第3部

14:30

↓

16:00

シンポジウム 「若年認知症の人を地域で支える取り組み

それぞれができること」

若年性認知症当事者を地域で支えるために必要なことを、当事者や実践者、専門職それぞれの話を聞きながら考え、受講者それぞれに自らの支援について考える。

シンポジスト

布川 佐登美（ケアラーネットみちくさ 理事長）／若年性認知症当事者（ちばオレンジ大使）
山本 敏子（柏北部地域包括支援センター センター長）
藤田 睦美（千葉県若年性認知症支援コーディネーター）
細井 尚人（袖ヶ浦さつき台病院認知症疾患医療センター長 袖ヶ浦さつき台病院 医師）

コーディネーター

伊藤 英樹（井戸端介護 理事長）

受講対象者 ▶

介護事業者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等職員で、現在若年性認知症の方への介護・支援等を実施している方、高齢者福祉担当自治体等職員、当事者とその家族

参加申込書

FAX: **043-244-2602** 申込締切: **12月13日** 金

ふりがな	お電話
参加者氏名	
所属団体等	ご希望の参加プログラムに○をお願いします 第1部 ・ 第2部 ・ 第3部

※オンラインでの参加を希望する方は、表面の2次元コードよりお申込みください

申込・お問合せ

一般社団法人ちば地域密着ケア協議会



043-244-2601



c3-chiba@salsa.ocn.ne.jp